

TOTO

オートクリーンC (自動バルブユニット) ウォシュレット連動タイプ

TEV10E型・TEV10EC型(水道水)
TEV20E型・TEV20EC型(再生水)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1-1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。



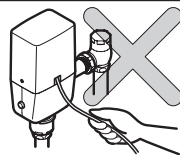
は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

警告



禁止

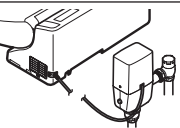
信号線が破損するようなことをしない
傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加熱したりしない
傷んだまま使用すると、火災の原因になります。



必ず実行

ウォシュレットPSAと接続する

他の信号線や電源線と接続した場合、火災や感電、故障のおそれがあります。

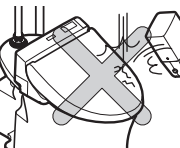


注意



必ず実行

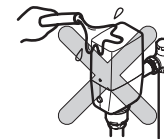
バルブ本体は重いため取り扱いには十分に注意する
便器などに落とすと、便器が破損して水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。また、けがをするおそれがあります。



注意

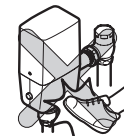
機能部に水をかけない

故障の原因になります。



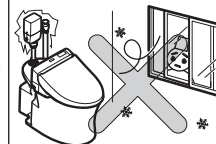
強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



凍結が予想される場所には設置しない

部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



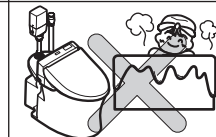
本体の通水路には抵抗となるような部材(オリフィスなど)をつけない

洗浄性能への悪影響や水漏れのおそれがあります。



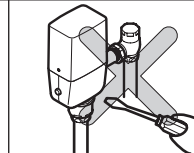
浴室など湿気の多い場所には設置しない

故障の原因になります。



分解したり、修理・改造は絶対に行わない

故障の原因になります。



禁止

水場使用禁止



分解禁止

1-2

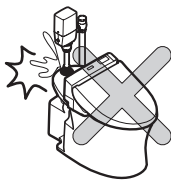
⚠ 注 意



必ず実行

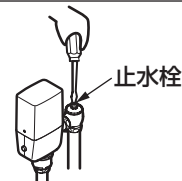
空気の混入が考えられる給水配管には必ず空気抜き弁を取り付け、空気が配管内に残らないようにする

新築・改修工事後や、水道断水復旧後に、大量の空気と水が混入して器具に供給されると、器具の破損や故障の原因となり、けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



ピストンの掃除をする際は、いきなりピistonを取り出さずに、止水栓または元栓を閉めてから行う(取扱説明書を参照してください)

水漏れにより、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



2 仕様

タイプ		自動バルブユニット (ウォシュレット連動タイプ)
工場出荷時標準洗浄水量		大洗浄：5.5L 小洗浄：4.5L
給水圧力	最低必要水圧(流動時)	0.07MPa以上(102L/分) ※ただし、バルブ取り付け時は84L/分以上
	最高水圧(静止時)	0.75MPa
電源	専用のウォシュレットPSAから供給されます。 (駆動電圧：DC24V)	
消費電力	専用のウォシュレットPSAの消費電力に含まれます。	
信号線長さ	約600mm	
人体感知	ウォシュレットPSAの着座センサーによる	
人体感知時間	ウォシュレットPSAの着座センサーにて、6秒間以上	
自動洗浄開始時間	ウォシュレットPSAの着座センサーが切れて、約10秒後	
小洗浄判定時間	120秒後または150秒に設定可能 工場出荷時120秒(注1) (ウォシュレットPSAのリモコンで切り替え可能)	
給水接続部	25A(ねじサイズ：R1)	
使用温度範囲	1～40℃	
使用水	TEV10E型・TEV10EC型：水道水のみ TEV20E型・TEV20EC型：水道水・井戸水・再生水・雑用水(注2)	

(注1)小洗浄判定時間の変更方法はTOTO(株)お客様相談室へお問い合わせください。

・ウォシュレットPSAのリモコンで設定の変更が可能です。

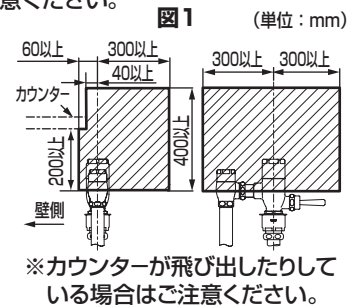
(注2)井戸水・再生水・雑用水は、使用できる水質範囲があります。詳しくは、下記アドレスのホームページを参照してください。
ホームページアドレス：<http://www.com-et.com/kiki/>

3

取り付け前に

1.取付条件の確認

- 節水タイプのオートクリーンCです。TOTOの専用腰掛便器(CS464・465系)との組み合わせでご使用ください。他社製便器には取り付けできませんのでご注意ください。
- ウォシュレットPSAとオートクリーンC間の信号線は付属の接続コードをご使用ください。また、付属の信号線の延長はオートクリーンCが作動しないおそれがありますので行わないでください。
- C14系・C21系の床給水便器からの取り替えの場合は、専用洗浄管とフランジが必要です。別途、TN129R(水道水以外を使用する場合はTN129DR)を手配してください。
- 既設のフラッシュバルブ付近に手すりなどがある場合には取り付けできません。(図1参照：斜線は必要空間寸法)
- ウォシュレットを取り付ける際、水道水仕様(TEV10型)はTH343型(アダプター)を、再生水仕様品はTH484V3型(アングル形止水栓)を別途ご購入ください。

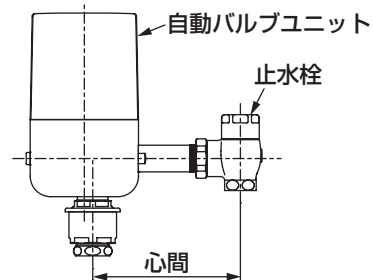
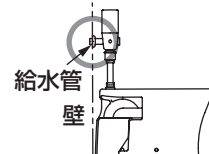


2.洗浄水について

- TEV10E型・TEV10EC型は水道水のみ、TEV20E型・TEV20EC型は水道水・井戸水・再生水・雑用水に使用できます。ただし、井戸水・再生水・雑用水は、使用できる水質範囲があります。詳しくは、下記アドレスのホームページを参照してください。 **ホームページアドレス：<http://www.com-et.com/kiki/>**

3.その他

- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。
- オートクリーンCの給水方向は、左右どちらにも対応できます。
- 右図以外(右図以外)の設置形態の場合は、パイプホルダーなどで給水管や洗浄管を確実に固定してください。
- 心間調整について
120mm以外は、下記品番の接続金具をご購入のうえ、施工の前にお取り替えください。
(取替要領はTHD59P型の施工説明書を参照してください)



TH品番	CS464・465用 オートクリーンCでの心間	フラッシュバルブ での心間
THD59P110	120(+10~0)mm	110±10mm
THD59P120	130±10mm	120±10mm
THD59P140	150±10mm	140±10mm
THD59P160	170±10mm	160±10mm
THD59P170	180±10mm	170±10mm
THD59P180	190±10mm	180±10mm
THD59P200	210±10mm	200±10mm

心間は標準寸法に対して±10mmの範囲で調節可能です。ただし、CS464・465用オートクリーンCの心間120mm継手の下限は0mmです。上表のように、CS464・465用オートクリーンCとフラッシュバルブはTH品番において心間が異なりますのでご注意ください。

4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

オートクリーンC本体	給水・洗浄管部
<p>信号線 継手</p>	<p>給水管 洗浄管 止水栓 スパッド バキュームブレーカー フランジ</p>
その他	
<p>取扱説明書</p>	<p>施工説明書 使いかたラベル</p>

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

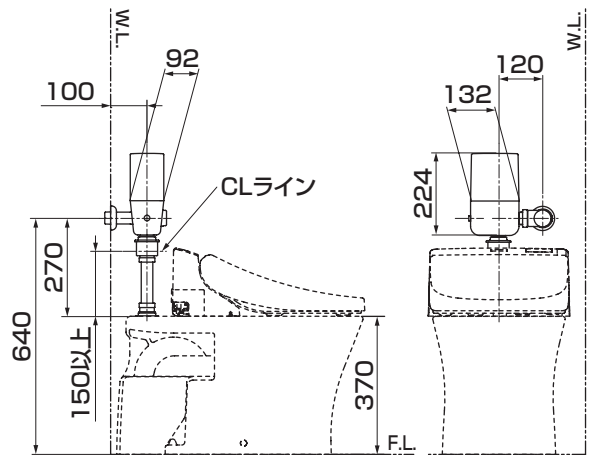
5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

(単位：mm)

腰掛便器とセットする場合

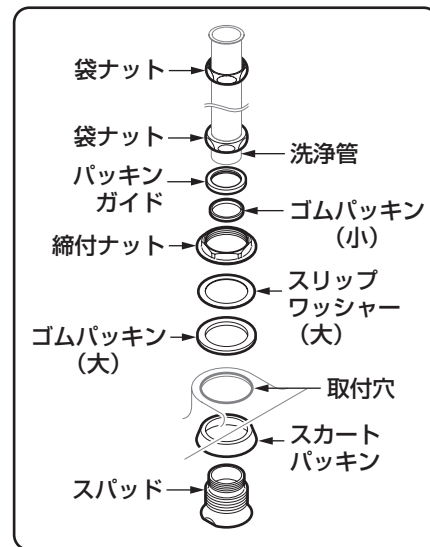
※バキュームブレーカー側面の「CL」ラインから便器のあふれ縁までは 150mm以上を確保してください。「CL」(Critical Installation Level)とはバキュームブレーカーの空気吸入シート面の位置を示す線です。



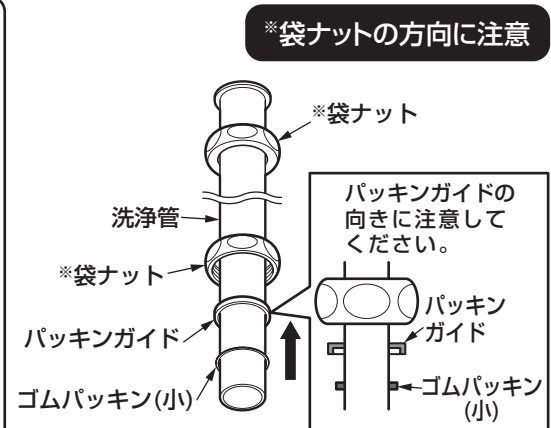
6-1 施工手順

- 1 スパッドと洗浄管の取り付け
- 2 給水管内の清掃
- 3 給水管の取り付け
- 4 バキュームブレーカーの取り付け
- 5 オートクリーンC本体の取り付け(給水方向を変更する場合)
- 6 水勢の確認
- 7 便器洗浄モード(洗浄水量)の設定
- 8 ウォシュレットPSAの電源の確認

1-1 スパッドと洗浄管の取り付け



- ① 洗浄管に※袋ナット(2個)、パッキンガイド、ゴムパッキン(小)を挿入する。



注意

パッキンガイドの向きと順番を間違えると水漏れのおそれがあります。

1-2 スパッドと洗浄管の取り付け (つづき)

- ②あらかじめ指にスカートパッキンを通し、スパッドを落とさないように取付穴に差し込む。

右図のように切り落し部以外から取付穴に入れ、切り落し部を通過させるように差し込んでください。
※始めに切り落し部から差し込むと、取付穴と干渉し、通過しない場合があります。



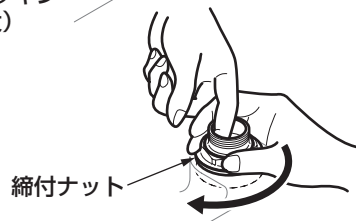
- ③スパッドと陶器の間にスカートパッキンを押し込み、スパッドに組み込む。



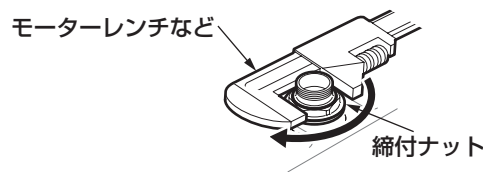
- ④ゴムパッキン(大)・スリップワッシャーの順にスパッドに組み込む。



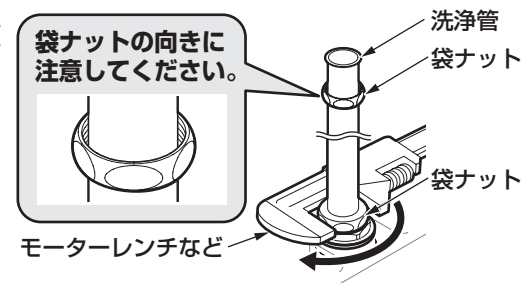
- ⑤あらかじめ指に締付ナットを通し、スパッドを取付穴の中心で引き寄せ、締付ナットを手で締め込む。



- ⑥モーターレンチなどの工具を使用して締付ナットを確実に締め込む。



- ⑦①でセットした洗浄管をスパッドに仮接続する。



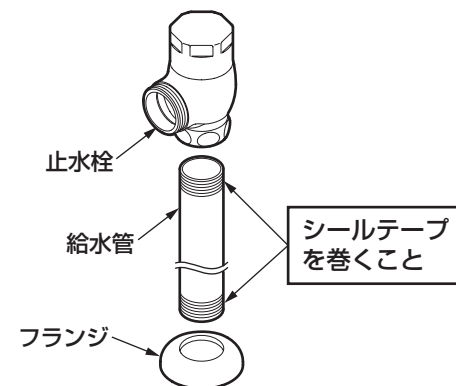
2 給水管内の清掃

取り付ける前に**必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

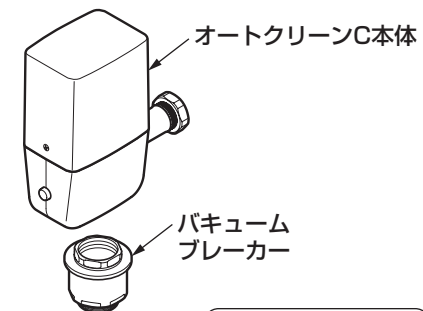
3 給水管の取り付け

- ①給水管を所定の位置に接続する。
②給水管に止水栓を取り付ける。



4 バキュームブレーカーの取り付け

オートクリーンC本体にバキュームブレーカーを取り付ける。



裏面へつづく

5-1 オートクリーンC本体の取り付け

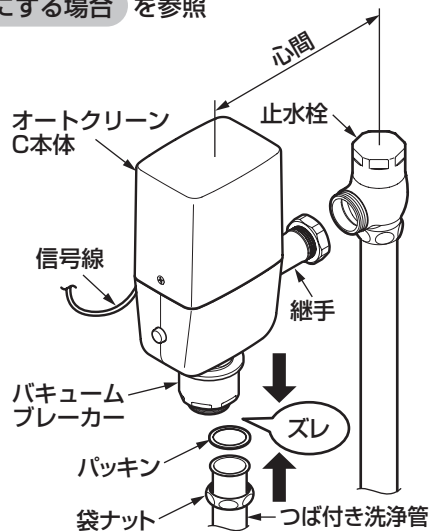
右給水の場合

※左給水の場合は、先に **5-2 給水方向を左給水にする場合** を参照

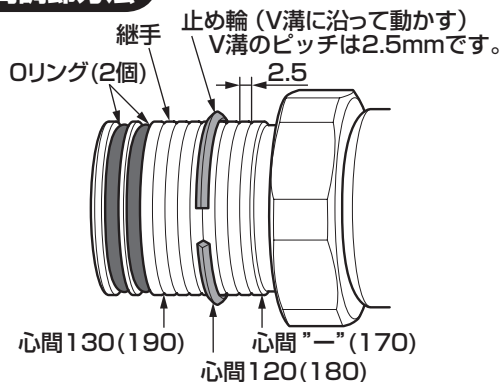
- ① オートクリーンC本体の継手を止水栓に差し込む。
- ② パキュームブレーカーにつば付き洗浄管の袋ナットを仮接続する。
- ③ オートクリーンC本体と止水栓の心間にズレがある場合は、心間調節方法を参照して、調節する。

注意

- つば付き洗浄管の袋ナット部には必ずパッキンが入っていることを確認してください。
- つば付き洗浄管が長い場合は切断し、調節してください。

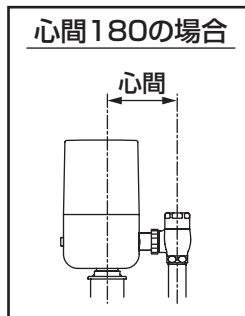


心間調節方法



(単位: mm)

心間180の場合

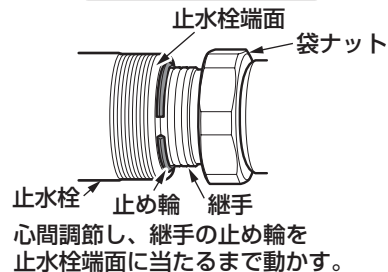


※オートクリーンCはカバー付きのため、120mm以下は対応不可です。

() 寸法は心間180の場合

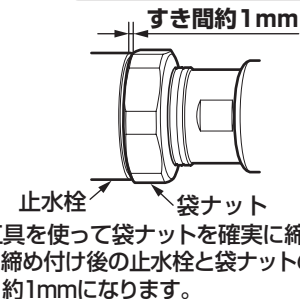
継手差し込みのポイント

袋ナット締め付け前



心間調節し、継手の止め輪を止水栓端面に当たるまで動かす。

袋ナット締め付け後

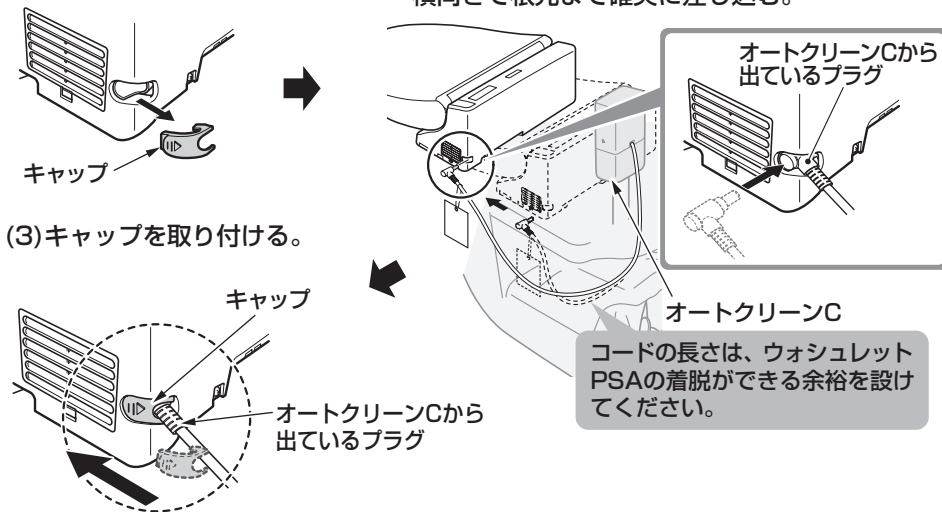


工具を使って袋ナットを確実に締め付ける。
※締め付け後の止水栓と袋ナットのすき間は約1mmになります。

注意

バルブ本体は縦向きに取り付けてください。斜めや横向きに取り付けると不具合の原因になります。

- ④ 心間調節完了後は工具を使ってすべての接続部を確実に締め付ける。
- ⑤ オートクリーンCから出ているプラグをウォシュレットPSAに取り付ける。
(1) キャップを外す。 (2) オートクリーンCから出ている信号線のプラグを横向きで根元まで確実に差し込む。



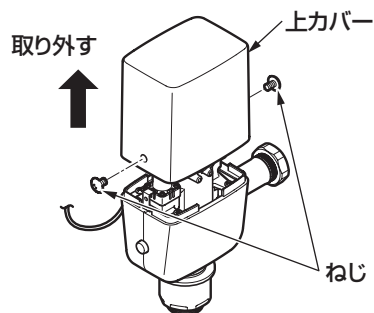
コードの長さは、ウォシュレットPSAの着脱ができる余裕を設けてください。

5-2 オートクリーンC本体の取り付け (つづき)

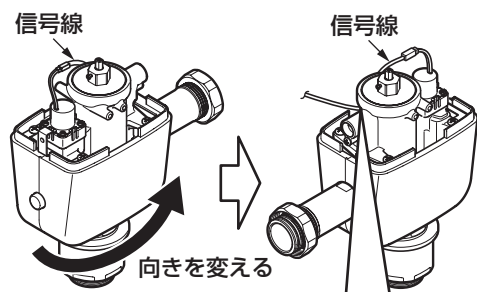
給水方向を左給水にする場合

※工場出荷時の右給水でご使用の場合は不要です。

- ①上カバーを固定しているねじ (2カ所) を外し、上カバーを取り外す。

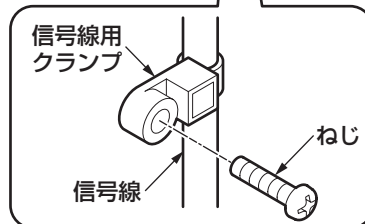


- ②給水方向を変える場合は、信号線用クランプの前後の取付位置を変更し、オートクリーンC本体の向きを変えてください。



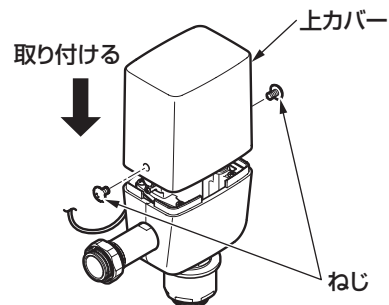
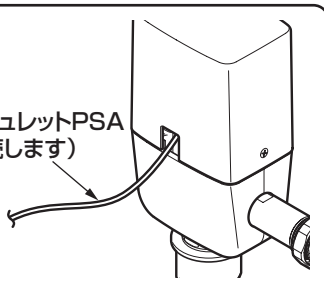
※この作業はオートクリーンC本体を洗浄管に差し込む前に行ってください。

- ③信号線をかみ込まないように、十分に注意しながら上カバーをセットし、上カバーの裏側の穴から信号線を通し、ねじで固定する。



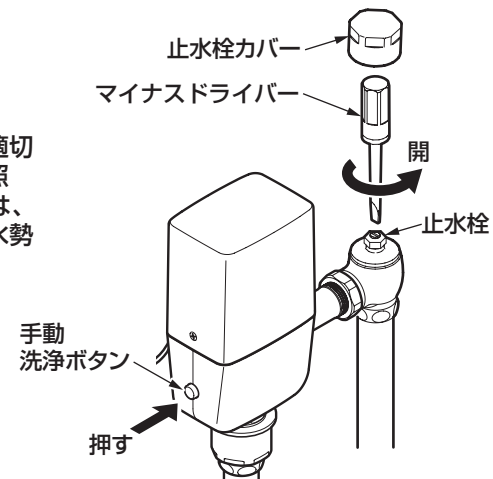
裏側

信号線
(ウォシュレットPSA
に接続します)

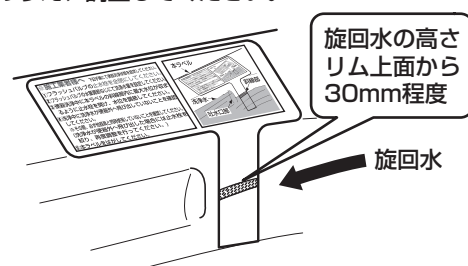


6 水勢の確認

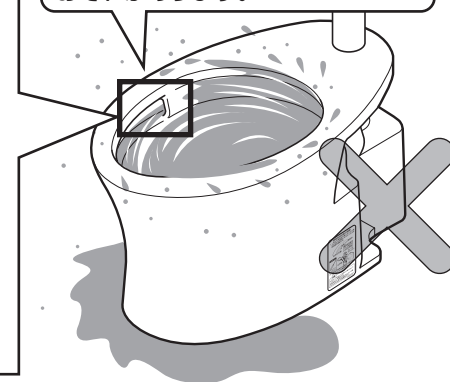
- ①止水栓カバーを取り外す。
- ②止水栓を全開にする。
- ③手動洗浄ボタンを押して巡回水の高さが適切になっていることを確認する。*下図参照
※流動時の水圧が0.5MPaを超える場合は、便器の水位ラベルを見ながら止水栓で水勢を調節してください。
- ④止水栓カバーを取り付ける。




便器洗浄状態の調整方法についてはラベルを参照のうえ、調整してください。



水勢が強すぎると水が外に飛び出すおそれがあります。



豆知識

一周した巡回水の高さが上図の  の範囲内になるように止水栓を調整してください。

7 便器洗浄モード（洗浄水量）の設定

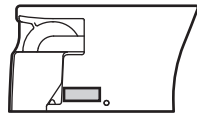
ウォシュレットPSAの便器洗浄ユニット施工説明書を参照のうえ、リモコンで確実に便器洗浄モードの設定を行ってください。

確実に洗浄できるか必ず確認し、適正な洗浄水量に設定してください。

【品番の確認方法】

右図を参考にして、便器の品番を確認する。

.....品番確認位置



腰掛便器

		標準	自治体条例対応	
大洗浄	ウォシュレットPSAのリモコンにて設定	5.5L (注1)	6L	8L
			必要に応じてウォシュレットPSAのリモコンで設定してください。	
小洗浄		4.5L	5L	6L

注1：大洗浄5.5L設定で汚物が流れない場合は、大洗浄6Lに設定してください。

注意

和洋リモデル工法の場合は、便器の水たまり面が低下します。ウォシュレットPSAの便器洗浄ユニット施工説明書を参照のうえ、必ず水たまり面を調整してください。

8 ウォシュレットPSAの電源の確認

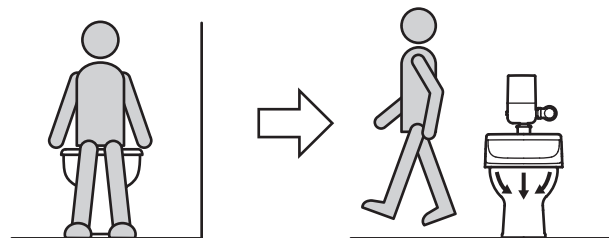
ウォシュレットPSAの電源が入っているか確認する。

試運転

※試運転はウォシュレットPSAとセットで行ってください。

自動洗浄

便座に6秒以上座り、立ち去ると、約10秒後に洗浄水が自動で流れることをご確認ください。



大小洗浄機能	着座センサーの感知時間	洗浄水量
大小	約6秒～120秒	小洗浄水量
	120秒以上	大洗浄水量

リモコン洗浄

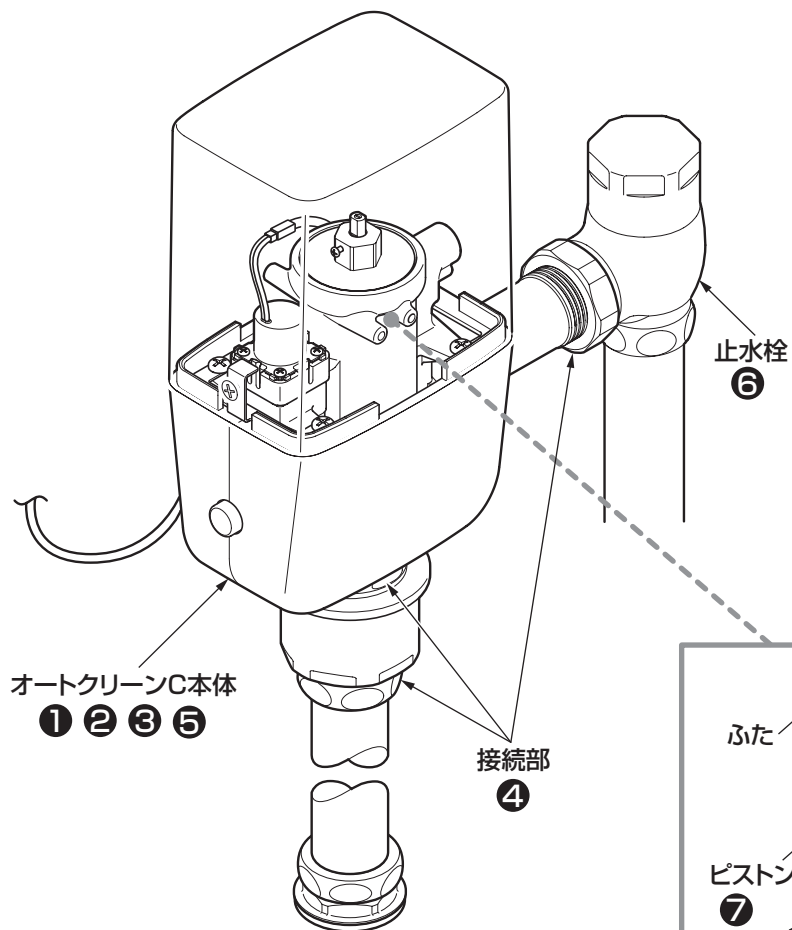
ボタンを押すと、洗浄水が流れることをご確認ください。



1度洗浄しますと、ムダな洗浄を防ぐため、その後約10秒間は再洗浄できませんのでご注意ください。

使用者に操作方法がわかるように、同梱のラベルをリモコンに近い壁面に貼り付けてください。

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



配線の確認

コネクターおよび信号線が接続されているか確認してください。

① コネクターは確実に接続していますか？

② 信号線は確実に接続していますか？

↳ 6-4 - ⑤ 「オートクリーンC本体の取り付け」参照

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

③ オートクリーンC本体、止水栓はしっかり取り付けられていますか？

↳ 6-3 - ⑤ 「オートクリーンC本体の取り付け」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

④ 接続部はしっかり締め付けていますか？

↳ 6-3 - ⑤ 「オートクリーンC本体の取り付け」参照

洗浄水量の確認

洗浄水量が少ないときや、設定どおりの洗浄水量が出ない場合は、次の項目を確認してください。

⑤ 小洗浄水量・大洗浄水量は正しく設定されていますか？

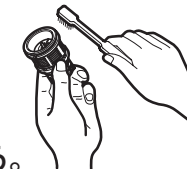
↳ 便器洗浄モードの設定については、ウォシュレットPSAの便器洗浄ユニット施工説明書を参照してください。

⑥ 止水栓は開いていますか？

↳ 6-4 - ⑥ 「水勢の確認」参照

⑦ ピストンのごみ詰まりはないですか？

↳ ピストンの掃除をする。掃除方法は取扱説明書を参照してください。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。